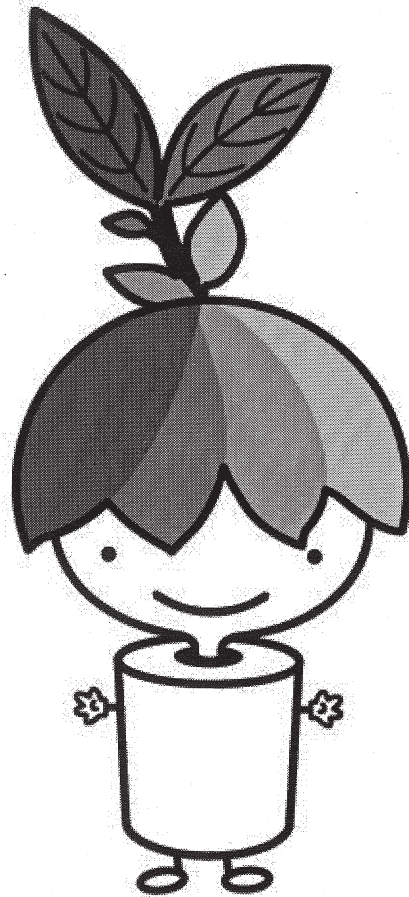


平成20年度

福島県の一般廃棄物処理の状況

(平成21年3月末現在)



リーフィンクル

福島県ごみ減量化・リサイクル推進マスコットキャラクター

福島県生活環境部
一般廃棄物課

目次

第1編 本編	1
1 福島県の一般廃棄物処理について	2
(1) 平成20年度一般廃棄物処理事業の概要	2
(2) 福島県廃棄物処理計画	4
2 福島県のごみ処理の状況	7
(1) ごみの排出量について	7
(2) ごみの分別収集状況について	12
(3) ごみの処理状況について	12
(4) リサイクル率について	14
(5) 最終処分場埋立量について	16
3 福島県のし尿処理の状況	18
(1) 水洗化の状況について	18
(2) し尿及び浄化槽汚泥の処理方法について	18
(3) 浄化槽の設置状況について	21
第2編 統計データ編	23
1 平成20年度廃棄物処理事業経費	24
2 平成20年度廃棄物処理事業委託・許可件数	32
3 平成20年度廃棄物処理業者及び従業員の状況	33
4 平成20年度ごみ処理の概要	34
5 平成20年度ごみ搬入量の内訳	37
6 平成20年度ごみ処理量の内訳	42
7 平成20年度資源化量の内訳	44
8 平成20年度ごみ処理手数料の状況(生活系)	48
9 平成20年度ごみ処理手数料の状況(事業系)	56
10 平成20年度ごみの収集運搬体制の状況(生活系)	64
11 平成20年度ごみの収集運搬体制の状況(事業系)	73
12 市町村におけるごみ減量化推進体制整備状況	82
13 市町村における生ごみ処理機(コンポスト容器も含む)普及促進策	83
14 住民団体等による集団回収への援助措置実施状況	87
15 平成20年度一般廃棄物処理施設整備事業一覧(国費による助成事業)	88
16 平成20年度水洗化人口等の状況	89
17 平成20年度し尿処理の状況	91
第3編 資料編	93
1 一般廃棄物処理施設の状況	94
2 環境美化条例等制定状況	110
3 市町村廃棄物関係担当課一覧	112
4 一部事務組合一覧	113

(注)本冊子の内容は福島県の一般廃棄物課のホームページ(産業廃棄物課・不法投棄対策室と共同)より閲覧・ダウンロードできます。(URL: <http://www.pref.fukushima.jp/recycle/>)

第1編 本編

1 福島県の一般廃棄物処理について

(1) 平成20年度一般廃棄物処理事業の概要

ア 計画処理区域

平成20年10月1日現在の福島県の人口は2,066,222人で、ごみ処理及びし尿処理ともに県全域(13,782.75km²)が処理区域となっています。

一般廃棄物処理事業は、市町村及び一部事務組合により行われており、平成21年3月31日現在では、13市31町15村の59市町村、14組合となっています。

イ 一般廃棄物処理事業経費

平成20年度の市町村における一般廃棄物処理事業費は約254億円で、前年度(約302億円)と比較すると約16%減少しています。

表-1 平成20年度一般廃棄物処理事業費

(単位:千円)

廃棄物処理事業経費	ごみ処理経費 20,257,782			し尿処理経費 5,131,513		
	建設改良費	処理及び維持管理費	その他	建設改良費	処理及び維持管理費	その他
25,389,295 (30,204,742)	2,170,532 (6,806,779)	17,390,521 (17,634,789)	696,729 (747,985)	1,233,127 (1,001,559)	3,686,986 (3,708,157)	211,400 (305,473)

(注)建設改良費:施設の建設や改良に係る工事費、調査費

処理及び維持管理費:通常の処理に係る人件費、処理費、修繕費、車両等購入費

()の数値は平成19年度実績

ウ 一般廃棄物処理業者数等の状況

平成20年度末現在のごみ処理及びし尿処理を委託又は許可をしている業者数は664、その従業員数は5,195人となっており、前年度と比較すると、いずれも増加しています。

表-2 平成20年度一般廃棄物処理業者数等

県内に主たる事務所を有する事業者				従業員数(人)			
総数	ごみ専業	し尿専業	兼業	合計	収集運搬	中間処理	最終処分
664 (630)	545 (506)	74 (97)	45 (27)	5,195 (4,753)	4,468 (4,421)	723 (612)	15 (49)

(注1)()内は平成19年度実績

(注2)従業員数は、業務の兼務により内訳と合計数が一致しません。

エ 一般廃棄物処理施設設置状況

平成20年度末における稼働中の一般廃棄物処理施設は115施設で、ごみ処理施設が67施設、し尿処理施設が26施設、一般廃棄物最終処分場が22施設

となっており、それぞれの施設整備に当たっては、主に循環型社会形成推進交付金（平成16年度以前は廃棄物処理施設整備費国庫補助金）が活用されています。

表-3 一般廃棄物処理施設設置状況 (平成20年度末現在)

施設種類		施設数	施設能力
ごみ処理施設	ごみ焼却施設	24	3,006 (t/日)
	粗大ごみ処理施設	14	476 (t/日)
	資源化施設	28	332.3 (t/日)
	その他の施設	1	5 (t/日)
	小計	67	
し尿処理施設	し尿処理施設	23	2,106 (kl/日)
	コミュニティプラント	3	計画処理人口7,540人
	小計	26	
一般廃棄物最終処分場		22	残余容量 1,572千m ³ 残余年数 15.7年
合計		115	

(注)残余年数は、残余容量を平成20年度の埋立容量実績(覆土を含む)で除したものの。

オ 一般廃棄物処理手数料の徴収状況

生活系ごみは、資源ごみを除き4割以上の市町村において、また、事業系ごみは9割以上の市町村で有料化が図られています。

また、し尿及び浄化槽汚泥の処理については、すべての市町村で有料化されています。

表-4 平成20年度ごみ処理有料化の状況(直接搬入は除く)(単位:市町村数)

種類		生活系ごみ (割合%)	事業系ごみ (割合%)
可燃ごみ		27 (45.8%)	54 (91.5%)
不燃ごみ		26 (44.1%)	54 (91.5%)
資源ごみ	紙	6 (10.2%)	21 (35.6%)
	金属	14 (23.7%)	24 (40.7%)
	ガラス	14 (23.7%)	25 (42.4%)
	ペットボトル	14 (23.7%)	25 (42.4%)
	プラスチック	13 (22.0%)	23 (39.0%)

	布類	0 (0%)	4 (6.8%)
	生ごみ	0 (0%)	1 (1.7%)
	その他	0 (0%)	1 (1.7%)
その他収集ごみ		1 (1.7%)	5 (8.5%)
粗大ごみ		28 (47.5%)	35 (59.3%)

(注1) 割合の分母は平成20年度末現在の市町村数で59です。

(注2) 資源ごみの「その他」は、再資源化を目的として収集されるもののうち、他の品目に分類できないものを指し、具体的には白色トレイや廃食油などがあります。

(注3) 「その他収集ごみ」は他の種類に分類できないごみであり、「有害ごみ」や「危険ごみ」などがあります。

表一五 平成20年度し尿及び浄化槽汚泥の処理手数料の状況(単位:市町村数)

種 類	有 料		無 料
	従量・回数制	定額制	
し 尿	53(89.8%)	6(10.2%)	0
浄化槽汚泥	54(91.5%)	5(8.5%)	0

(注) 割合の分母は平成20年度末現在の市町村数で59です。(全市町村でし尿及び浄化槽汚泥の汲み取りが実施されています。)

(2) 福島県廃棄物処理計画

「福島県廃棄物処理計画」については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、平成14年度から平成22年度の9か年を計画期間とする計画として平成14年3月に策定しましたが、社会経済環境等の変化等に対応するため、中間年度である平成17年度(平成18年3月)に循環型社会づくりに向けた取組みを一層強化するという基本的な考えのもとに見直しを行いました。

ア ごみ処理に関する課題

- ①大量消費・大量廃棄型社会から、環境への負荷ができる限り低減された循環型社会へ転換するためには、ライフスタイルを変えていく必要があります。
- ②ごみの排出抑制を推進するため、ごみ処理有料化の導入等について積極的に推進することが必要です。
- ③リサイクルを推進するためには、廃棄物処理法及び各種リサイクル法等の施策の円滑な実施と、各実施主体による一体的な推進体制を構築することが必要です。
- ④災害時等一度に大量の廃棄物が発生する場合には、近隣の市町村等が連携を密にしながら処理していく必要があることから、その計画や処理体制づくりが必要です。

イ 基本方針

ごみ処理に関する課題を踏まえ、次の3つの柱をごみ減量化・リサイクルの目標の基本方針とし、県民、事業者、市町村及び県はそれぞれの役割分担のもとで目標実現のために取り組んでいくこととします。

- ①ごみ発生の抑制（ごみとなる前の取組み）
- ②リサイクルの推進（ごみ資源化の取組み）
- ③資源化施設の整備（ごみとして収集した後の取組み）

ウ ごみ減量化・リサイクルの目標値（平成22年度における目標値）
県民に分かりやすい目標指標として次のように目標値を設定しました。

① 1人1日当たりのごみの排出量	930 g / 人・日
② リサイクル率	26 %
③ 1日当たりの最終処分量	225 t / 日

エ 目標達成のための推進施策

目標を達成するため、次の施策の推進を図ることとします。

①ごみ発生抑制（ごみとなる前の取組み）

- 意識改革の推進
- 過剰包装防止対策の実施
- 不用品交換事業の推進
- 自家処理の推進
- 事業系ごみの減量化対策
- ごみ処理有料化の推進

②リサイクルの推進（ごみ資源化の取組み）

- 各種リサイクル法への対応
- 集団回収の促進
- リサイクル製品の製造促進
- リサイクル製品等の使用促進

③資源化施設等の整備（ごみとして収集した後の取組み）

- 資源化施設の整備
- 溶融スラグの再生利用
- たい肥化施設の整備
- 施設の整備手法の調査研究
- 再生事業者との連携

《ごみ排出量の考え方について》

国におけるごみ排出量の定義が平成17年度実績のとりまとめから次のとおり変更されたことから、本冊子においても新たな定義（新基準）でとりまとめることとします。

旧： 収集ごみ量 + 直接搬入量 + 自家処理量

新： 収集ごみ量 + 直接搬入量 + 集団回収量

また、過去の実績を表記する部分についても、新基準に換算した値により表記することとしました。

なお、福島県廃棄物処理計画における1人1日当たりのごみ排出量の平成22年度目標値930gは、旧基準によるものです。

2 福島県のごみ処理の状況

平成20年度のごみ処理の状況は次のとおりです。

1 ごみの排出量

(1) 排出量

781,583 (t/年) 【前年度 813,723 t/年】

前年度と比較すると 32,140 t 減少しています。

(2) 1人1日当たりの排出量 【目標値 930 g/人・日】

1,036 (g/人・日) 【前年度 1,071 g/人・日】

前年度と比較すると 35 g 減少していますが、目標値と比較すると 106 g オーバーしています。

2 リサイクル率 【目標値 26%】

15.5 (%) 【前年度 16.3%】

前年度と比較すると 0.8 ポイント減少していますが、目標値と比較すると 10.5 ポイント足りない状況です。

3 最終処分場埋立量

(1) 総埋立量

97,986 (t/年) 【前年度 109,387 t/年】

前年度と比較すると 11,401 t 減少しています。

(2) 1日当たりの埋立量 【目標値 225 t/日】

268 (t/日) 【前年度 299 t/日】

前年度と比較すると 31 t 減少していますが、目標値と比較すると 43 t オーバーしています。

(1) ごみの排出量について

平成20年度におけるごみの総排出量は 781,583 t で、1人1日当たりに換算すると 1,036 g となります。これを全国平均の 1,033 g と比較すると 3 g 多くなっています。

また、生活系・事業系に分類すると、生活系ごみが 562,228 t、事業系ごみが 219,355 t と、前年度と同様、事業系ごみが約 1/3 を占めています。

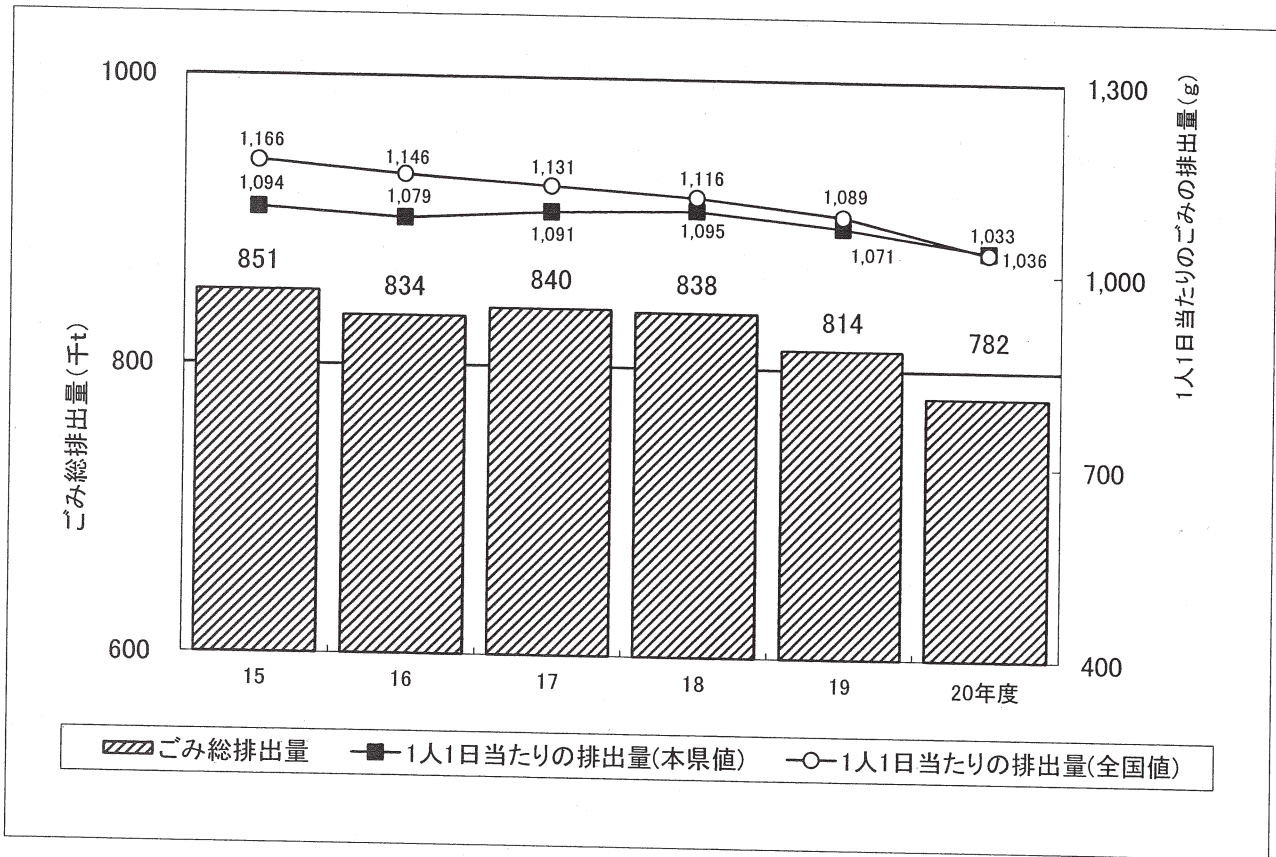


図-1 ごみの排出量の推移

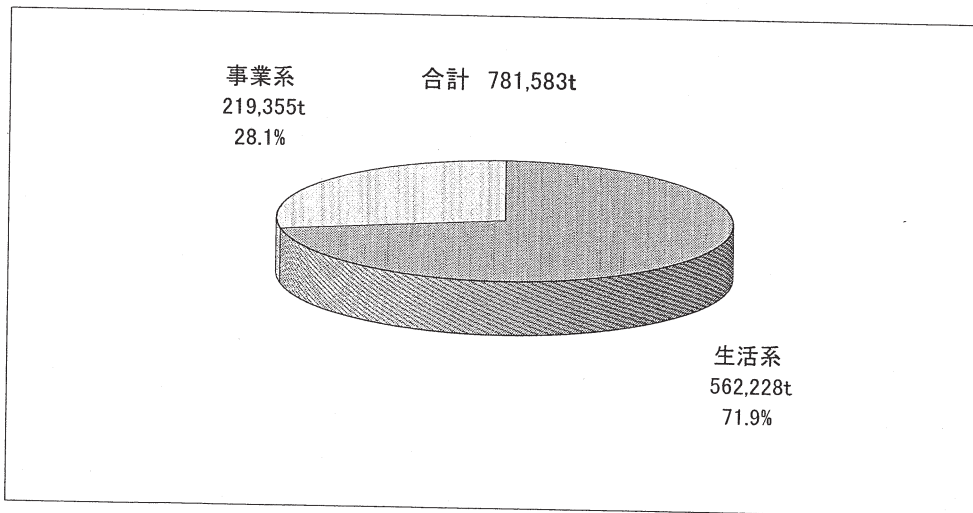


図-2 生活系ごみと事業系ごみの排出割合

○ 市町村別1人1日当たりのごみ排出量の状況

平成19年度と比較して、1人1日当たりのごみ排出量が減少した市町村のランキングは表-6のとおりです。

また、人口規模別の1人1日当たりのごみ排出量が少ない市町村のランキングは表-7のとおりで、会津・南会津地域には排出量の多い市町村が見られる傾向にあります。これは観光客による影響もあると考えられます。

表-6 1人1日当たりのごみ排出量の対前年度比(単位:g)

順位	市町村名	対前年度比	H20年度	H19年度	順位	市町村名	対前年度比	H20年度	H19年度
1	福島市	-79	1,150	1,229	31	須賀川市	-16	917	933
2	三春町	-69	841	910	32	南相馬市	-14	982	996
3	北塩原村	-66	1,143	1,209	33	本宮市	-13	802	815
4	下郷町	-64	904	968	34	会津美里町	-12	846	858
5	三島町	-61	780	841	35	葛尾村	-12	287	299
6	矢吹町	-57	738	795	36	鮫川村	-11	377	388
7	郡山市	-57	1,223	1,280	37	喜多方市	-11	937	947
8	新地町	-49	513	562	38	西会津町	-8	670	679
9	相馬市	-46	1,061	1,107	39	川俣町	-9	915	924
10	富岡町	-43	854	897	40	国見町	-4	983	987
11	檜枝岐村	-42	1,326	1,368	41	石川町	-4	828	832
12	古殿町	-42	662	704	42	浪江町	-3	761	764
13	会津若松市	-38	1,155	1,193	43	二本松市	-3	810	813
14	西郷村	-38	833	871	44	中島村	-1	411	412
15	湯川村	-37	652	689	45	小野町	0	725	725
16	金山町	-36	686	722	46	埴町	0	841	841
17	いわき市	-35	1,192	1,227	47	田村市	1	636	635
18	白河市	-33	974	1,007	48	天栄村	2	742	740
19	南会津町	-31	1,042	1,073	49	矢祭町	10	525	515
20	伊達市	-27	1,021	1,048	50	柳津町	14	685	671
21	川内村	-26	418	445	51	玉川村	16	712	696
22	大玉村	-24	649	673	52	平田村	19	523	504
23	檜葉町	-23	744	767	53	泉崎村	21	581	560
24	桑折町	-22	1,057	1,079	54	浅川町	25	760	735
25	鏡石町	-20	903	923	55	広野町	32	767	735
26	会津坂下町	-19	831	851	56	棚倉町	33	869	836
27	飯館村	-19	289	307	57	大熊町	51	910	859
28	猪苗代町	-18	1,066	1,084	58	双葉町	80	756	676
29	只見町	-17	947	964	59	磐梯町	96	1,016	920
30	昭和村	-17	625	642					

(注1) 対前年度の数値が同じ場合の順位付けは端数により行っています。

(注2) 合併した市町村における過去の数値については、旧市町村分を合算して集計しています。

表-7 1人1日当たりのごみの排出量 (単位: g)

(1) 人口5万人以上
(10市)

順位	市町村名	排出量
1	二本松市	810
2	須賀川市	917
3	喜多方市	937
4	白河市	974
5	南相馬市	982
6	伊達市	1,021
7	福島市	1,150
8	会津若松市	1,155
9	いわき市	1,192
10	郡山市	1,223
	平均	1,121

(2) 人口1万人~5万人未満
(21市町村)

順位	市町村名	排出量
1	田村市	636
2	小野町	725
3	矢吹町	738
4	浪江町	761
5	本宮市	802
6	石川町	828
7	会津坂下町	831
8	西郷村	833
9	三春町	841
10	塙町	841
11	会津美里町	846
12	富岡町	854
13	棚倉町	869
14	鏡石町	903
15	大熊町	910
16	川俣町	915
17	国見町	983
18	南会津町	1,042
19	桑折町	1,057
20	相馬市	1,061
21	猪苗代町	1,066
	平均	862

(5) 全市町村
(59市町村)

順位	市町村名	排出量
1	葛尾村	287
2	飯館村	289
3	鮫川村	377
4	中島村	411
5	川内村	418
6	新地町	513
7	平田村	523
8	矢祭町	525
9	泉崎村	581
10	昭和村	625
11	田村市	636
12	大玉村	649
13	湯川村	652
14	古殿町	662
15	西会津町	670
16	柳津町	685
17	金山町	686
18	玉川村	712
19	小野町	725
20	矢吹町	738
21	天栄村	742
22	檜葉町	744
23	双葉町	756
24	浅川町	760
25	浪江町	761
26	広野町	767
27	三島町	780
28	本宮市	802
29	二本松市	810
30	石川町	828
31	会津坂下町	831
32	西郷村	833
33	三春町	841
34	塙町	841
35	会津美里町	846
36	富岡町	854
37	棚倉町	869
38	鏡石町	903
39	下郷町	904
40	大熊町	910
41	川俣町	915
42	須賀川市	917
43	喜多方市	937
44	只見町	947
45	白河市	974
46	南相馬市	982
47	国見町	983
48	磐梯町	1,016
49	伊達市	1,021
50	南会津町	1,042
51	桑折町	1,057
52	相馬市	1,061
53	猪苗代町	1,066
54	北塩原村	1,143
55	福島市	1,150
56	会津若松市	1,155
57	いわき市	1,192
58	郡山市	1,223
59	檜枝岐村	1,326
	平均	1,036

(3) 人口5千人~1万人未満
(17町村)

順位	市町村名	排出量
1	飯館村	289
2	中島村	411
3	新地町	513
4	平田村	523
5	矢祭町	525
6	泉崎村	581
7	大玉村	649
8	古殿町	662
9	西会津町	670
10	玉川村	712
11	天栄村	742
12	檜葉町	744
13	双葉町	756
14	浅川町	760
15	広野町	767
16	下郷町	904
17	只見町	947
	平均	654

(4) 人口5千人未満
(11町村)

順位	市町村名	排出量
1	葛尾村	287
2	鮫川村	377
3	川内村	418
4	昭和村	625
5	湯川村	652
6	柳津町	685
7	金山町	686
8	三島町	780
9	磐梯町	1,016
10	北塩原村	1,143
11	檜枝岐村	1,326
	平均	698

【参考】

全国ベスト3

1位	徳島県神山町	265 g / 人・日
2位	福島県葛尾村	287 g / 人・日
3位	福島県飯館村	289 g / 人・日

(注) 太字は、生活系可燃ごみの有料化を実施している27市町村

○ 有料化の実施とごみ排出量の関係について

本県では、生活系可燃ごみの有料化は27市町村で実施されていますが、ごみ処理有料化の実施とごみの排出量の関係については、表-8のとおり、生活系可燃ごみの有料化を実施している市町村は未実施の市町村に比べ、1人1日当たりのごみ排出量(平均)が317g(29%)少なくなっています。

また、人口区分ごとにみても、同様の傾向となっています。(有料化実施市町村は、表7の太字部分及び第2編統計データ編「8 平成20年度ごみ処理手数料の状況(生活系)」を参照。)

表-8 有料化の実施の有無による1人1日当たりのごみ排出量

(単位:g)

	有料化実施	有料化未実施	差
排出量	774 (27)	1,091 (32)	-317
人口50,000人以上の市町村の排出量	974 (1)	1,128 (9)	-154
人口10,000~50,000人の市町村の排出量	778 (11)	946 (10)	-168
人口5,000~10,000人の市町村の排出量	618 (11)	716 (6)	-98
人口5,000人未満の市町村の排出量	584 (4)	773 (7)	-189

※()内は市町村数

(2) ごみの分別収集状況について

各市町村においては、平成9年度からの容器包装リサイクル法が本格施行されたことなどにより分別収集が進んできています。

平成20年度の状況は表-9のとおりであり、21区分から8区分まで分別収集が行われています。

表-9 分別収集の状況

分別数	市町村名	市町村数
21	双葉町	1
20	三春町	1
19	二本松市、本宮市、大玉村	3
17	石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、檜枝岐村、猪苗代町、会津坂下町	8
16	鏡石町、会津美里町、飯舘村	3
15	国見町、田村市、天栄村、小野町、西会津町、湯川村、柳津町、新地町、喜多方市、磐梯町、檜葉町	11
14	伊達市、須賀川市、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、会津若松市、三島町、下郷町、南会津町、南相馬市、広野町、富岡町、川内村	14
13	北塩原村、只見町、いわき市、浪江町	4
12	福島市、郡山市、白河市、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町	7
11	相馬市、桑折町、川俣町、金山町、昭和村	5
8	大熊町、葛尾村	2

(注1) 分別数とはごみを出す住民に対し市町村が求める分別の数。よって、例えばアルミ缶とスチール缶を同じ袋で一括して出させている場合には、その後にごみ処理施設で分別している場合でも、分別数は1と数えています。

(注2) 合併した市町で地域により分別数が異なる場合は、最も人口が多い地域の分別数を採用して集計しました。

(3) ごみの処理状況について

平成20年度のごみ処理フローは図-3のとおりです。

一般廃棄物処理施設で処理されたごみの総量は740,461 tで、このうち、直接焼却処理された量は625,953 t (84.5%)、粗大ごみ処理施設等での処理量は71,489 t (9.7%)となっています。

最終処分された量は97,986 tで、このうち、焼却等の中間処理後に最終処分された量が89,414 t (91.3%)、直接最終処分された量が8,572 t (8.7%)となっています。

総資源化量は120,652 tで、このうち、収集後に直接資源化された量が34,447 t (28.6%)、焼却施設や粗大ごみ処理施設等の廃棄物処理施設を経て資源化された量が46,265 t (38.3%)、集団回収量が39,940 t (33.1%)となっています。

処理人口等（単位：千人）

処理系統図（単位：t／年）

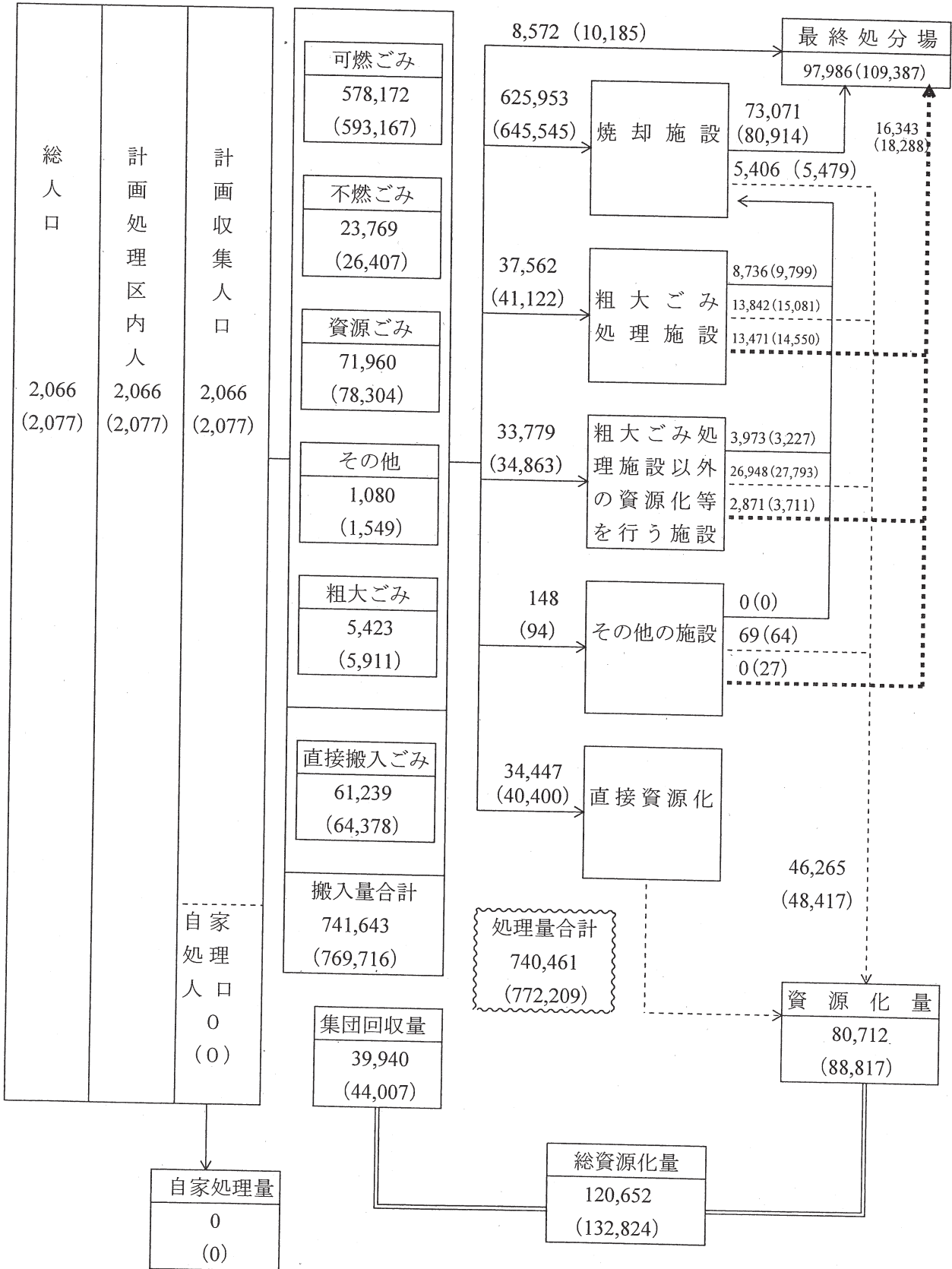


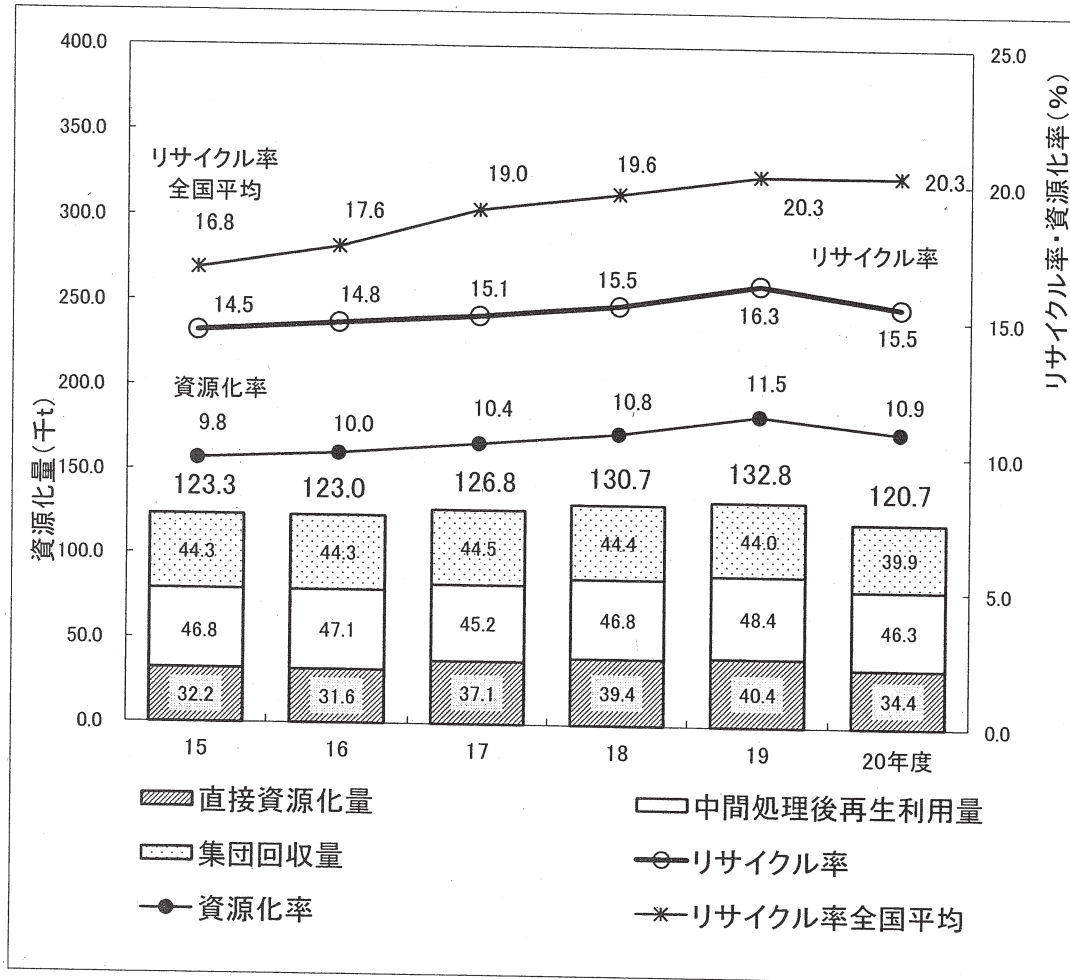
図-3 ごみ処理のフロー図

(注) () 内は平成19年度の実績

前年度搬入分を処理するなどの理由により、搬入量と処理量は一致しません。

(4) リサイクル率について

リサイクル率及び資源化率とも近年は順調に上昇しておりましたが、前年度と比較すると、リサイクル率は0.8ポイント、資源化率は0.6ポイント低下に転じています。



図一 4 総資源化量とリサイクル率の推移

$$\text{資源化量} = (\text{直接資源化量}) + (\text{中間処理後の再生利用量})$$

$$\text{総資源化量} = (\text{直接資源化量}) + (\text{中間処理後の再生利用量}) + (\text{集団回収量})$$

$$\text{リサイクル率} = \frac{(\text{総資源化量})}{(\text{ごみ処理量}) + (\text{集団回収量})} \times 100$$

$$\text{資源化率} = \frac{(\text{資源化量})}{(\text{ごみ処理量})} \times 100$$

○ 市町村別リサイクル率の状況

人口規模別のリサイクル率の高い市町村のランキングは表-10のとおりです。

表-10 リサイクル率(単位:%)

(1) 人口5万人以上

(10市)

順位	市町村名	リサイクル率
1	二本松市	26.2
2	会津若松市	17.8
3	いわき市	17.3
4	南相馬市	16.9
5	伊達市	14.9
6	須賀川市	14.1
7	福島市	14.1
8	喜多方市	13.1
9	白河市	13.0
10	郡山市	12.9
	平均	15.3

(2) 人口1万人~5万人未満

(21市町村)

順位	市町村名	リサイクル率
1	三春町	29.3
2	本宮市	23.0
3	田村市	22.9
4	猪苗代町	18.5
5	国見町	17.3
6	桑折町	17.0
7	会津坂下町	16.2
8	会津美里町	16.0
9	小野町	15.3
10	西郷村	15.3
11	鏡石町	14.7
12	南会津町	14.2
13	相馬市	13.9
14	富岡町	12.8
15	矢吹町	12.6
16	塙町	11.7
17	石川町	10.9
18	大熊町	10.8
19	棚倉町	10.4
20	浪江町	9.1
21	川俣町	8.4
	平均	15.8

(5) 全市町村

(59市町村)

順位	市町村名	リサイクル率
1	飯館村	41.8
2	三春町	29.3
3	二本松市	26.2
4	大玉村	24.0
5	西会津町	23.5
6	金山町	23.4
7	湯川村	23.3
8	本宮市	23.0
9	田村市	22.9
10	昭和村	19.7
11	新地町	19.7
12	柳津町	18.9
13	檜枝岐村	18.8
14	猪苗代町	18.5
15	会津若松市	17.8
16	下郷町	17.7
17	国見町	17.3
18	いわき市	17.3
19	葛尾村	17.2
20	桑折町	17.0
21	鮫川村	17.0
22	南相馬市	16.9
23	三島町	16.5
24	会津坂下町	16.2
25	会津美里町	16.0
26	双葉町	15.9
27	川内村	15.9
28	中島村	15.4
29	只見町	15.3
30	小野町	15.3
31	西郷村	15.3
32	伊達市	14.9
33	天栄村	14.8
34	鏡石町	14.7
35	磐梯町	14.6
36	矢祭町	14.5
37	南会津町	14.2
38	須賀川市	14.1
39	福島市	14.1
40	浅川町	14.0
41	相馬市	13.9
42	平田村	13.3
43	喜多方市	13.1
44	泉崎村	13.0
45	白河市	13.0
46	郡山市	12.9
47	富岡町	12.8
48	矢吹町	12.6
49	檜葉町	12.3
50	塙町	11.7
51	広野町	11.1
52	石川町	10.9
53	古殿町	10.9
54	大熊町	10.8
55	棚倉町	10.4
56	玉川村	9.8
57	浪江町	9.1
58	川俣町	8.4
59	北塩原村	7.6
	平均	15.5

(3) 人口5千人~1万人未満

(17町村)

順位	市町村名	リサイクル率
1	飯館村	41.8
2	大玉村	24.0
3	西会津町	23.5
4	新地町	19.7
5	下郷町	17.7
6	双葉町	15.9
7	中島村	15.4
8	只見町	15.3
9	天栄村	14.8
10	矢祭町	14.5
11	浅川町	14.0
12	平田村	13.3
13	泉崎村	13.0
14	檜葉町	12.3
15	広野町	11.1
16	古殿町	10.9
17	玉川村	9.8
	平均	16.2

(4) 人口5千人未満

(11町村)

順位	市町村名	リサイクル率
1	金山町	23.4
2	湯川村	23.3
3	昭和村	19.7
4	柳津町	18.9
5	檜枝岐村	18.8
6	葛尾村	17.2
7	鮫川村	17.0
8	三島町	16.5
9	川内村	15.9
10	磐梯町	14.6
11	北塩原村	7.6
	平均	16.5

【参考】

全国ベスト3

1位	鹿児島県大崎町	79.0%
2位	鹿児島県志布志市	74.9%
3位	高知県日高村	72.7%

(5) 最終処分場埋立量について

平成20年度の最終処分量は98.0千tと年々減少しており、前年度の109.4千tと比較すると11.4千t減少しています。(1日当たりでは31tの減少)

また、直接最終処分量も8.6千tと着実に減少しており、前年度の10.2千tと比較すると1.6千t減少しています。

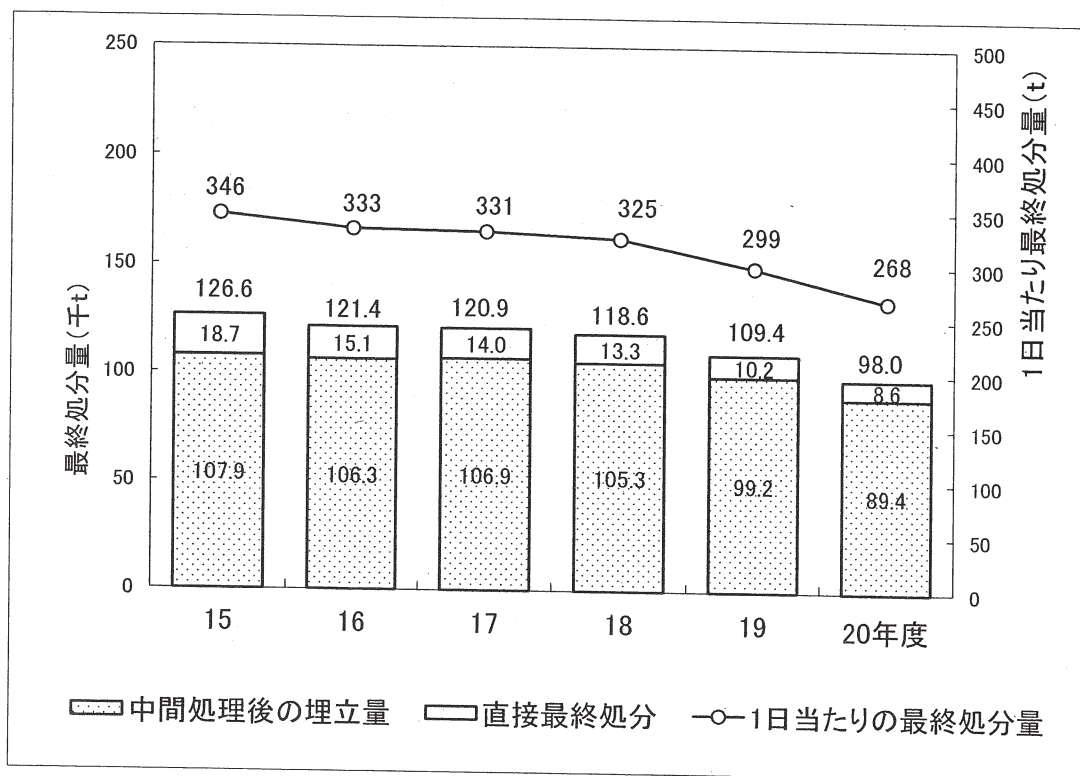


図-5 最終処分量と1日当たりの最終処分量の推移

表-11 ごみ処理の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
a 総人口(人)	2,125,829	2,118,626	2,109,814	2,096,295	2,076,623	2,066,222	
b 計画処理区域内人口(人)	2,125,829	2,118,626	2,109,814	2,096,295	2,076,623	2,066,222	
c 計画収集人口(人)	2,115,170	2,116,500	2,109,339	2,096,295	2,076,623	2,066,222	
d 自家処理人口(人)	10,659	2,126	475	0	0	0	
e ごみ処理事業経費(千円)	20,464,769	19,061,163	20,206,987	21,270,693	25,189,553	20,257,782	
f 建設改良費(千円)	2,663,644	1,595,520	2,452,415	3,266,266	6,806,779	2,170,532	
g 処理及び施設維持管理経費(千円)	17,529,434	17,374,241	17,185,241	17,333,513	17,634,789	17,390,521	
h その他(千円)	271,691	91,402	569,331	670,914	747,985	696,729	
i 1人当たりの処理事業経費(円)	9,627	8,997	9,578	10,147	12,130	9,804	
j 1人当たりの処理及び施設維持管理経費(円)	8,246	8,201	8,145	8,269	8,492	8,417	
k 1t当たりの処理及び施設維持管理経費(円)	21,704	22,026	21,607	21,773	22,837	23,486	
l ごみ総排出量(t/年)	850,876	834,152	840,012	837,965	813,723	781,583	
m 1人当たりのごみ排出量(g/人・日)	1,094	1,079	1,091	1,095	1,071	1,036	
n 計画収集量(t/年)	806,441	789,868	795,529	793,520	769,716	741,643	
o 収集ごみ量(t/年)	738,129	722,271	728,987	719,578	705,338	680,404	
p 直接搬入量(t/年)	68,312	67,597	66,542	73,942	64,378	61,239	
q 生活系ごみ搬入量(t/年)	546,766	531,985	538,923	542,071	535,651	522,288	
r 事業系ごみ搬入量(t/年)	259,675	257,883	256,606	251,449	234,065	219,355	
s 自家処理量(t/年)	2,839	1,787	187	0	0	0	
t ごみ処理量(t/年)	807,674	788,807	795,362	796,105	772,209	740,461	
u 直接焼却量(t/年)	677,759	663,885	665,601	663,827	645,545	625,953	
v 直接埋立量(t/年)	18,700	15,133	14,030	13,302	10,185	8,572	
w 資源化等の中間処理量(t/年)	79,038	78,164	78,565	79,576	76,079	71,489	
x 直接資源化量(t/年)	32,177	31,625	37,166	39,400	40,400	34,447	
y 資源化量(t/年)	78,994	78,697	82,328	86,240	88,817	80,712	
z 集団回収量(t/年)	44,435	44,284	44,483	44,445	44,007	39,940	
aa 資源化率(%)	9.8	10.0	10.4	10.8	11.5	10.9	
ab リサイクル率(%)	14.5	14.8	15.1	15.5	16.3	15.5	
ac 1日当たりの最終処分量(t/日)	346	333	331	325	299	268	
全国	1人当たりのごみ排出量(g/人・日)	1,166	1,146	1,131	1,116	1,089	1,033
	資源化率(%)	12.3	12.8	14.1	14.6	15.2	15.2
	リサイクル率(%)	16.8	17.6	19.0	19.6	20.3	20.3

(注) i=(e/b)×1,000

j=(g/b)×1,000

k=(g/t)×1,000

l=n+z

m=(l/b/365)×1,000,000 ※平成15年度及び平成19年度は「365」を「366」として計算した。

n=q+r

aa=(y/t)×100

ab=(y+z)/(t+z)×100

3 福島県のし尿処理の状況

(1) 水洗化の状況について

平成20年度の水洗化率は85.7%と年々増加しており、下水道による水洗化率は41.5%、浄化槽及びコミュニティプラント（コミプラ）による水洗化率は44.1%（うち合併処理浄化槽による水洗化率は22.8%）となっています。（P19参照）

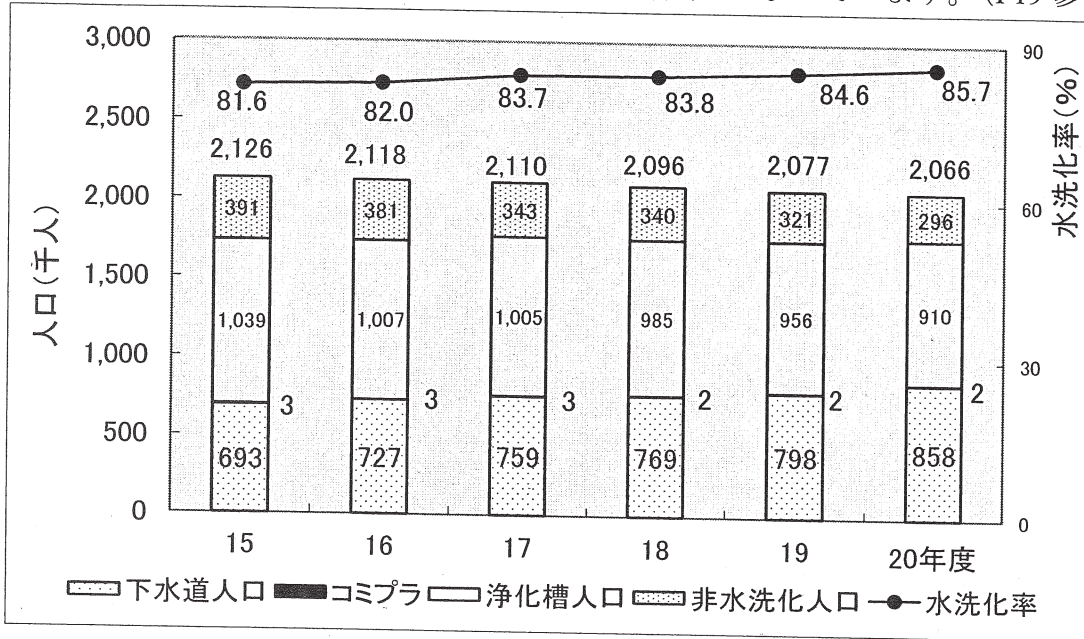


図-6 水洗化人口等の推移

(2) し尿及び浄化槽汚泥の処理方法について

平成20年度のし尿及び浄化槽汚泥の排出量は621,974 kℓで、前年度の636,738 kℓと比較すると14,764 kℓ減少しています。

また、処理方式別に見ると、し尿処理施設等における処理量は583,090 t（93.8%）、下水道投入が38,214 kℓ（6.1%）、自家処理量が670 kℓ（0.1%）となっています。

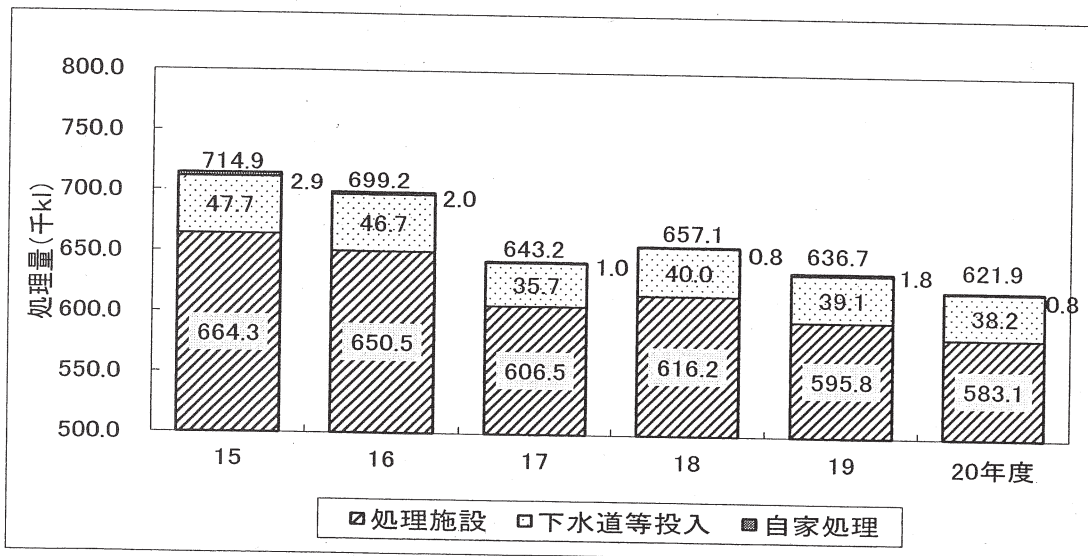


図-7 し尿及び浄化槽汚泥の処理状況

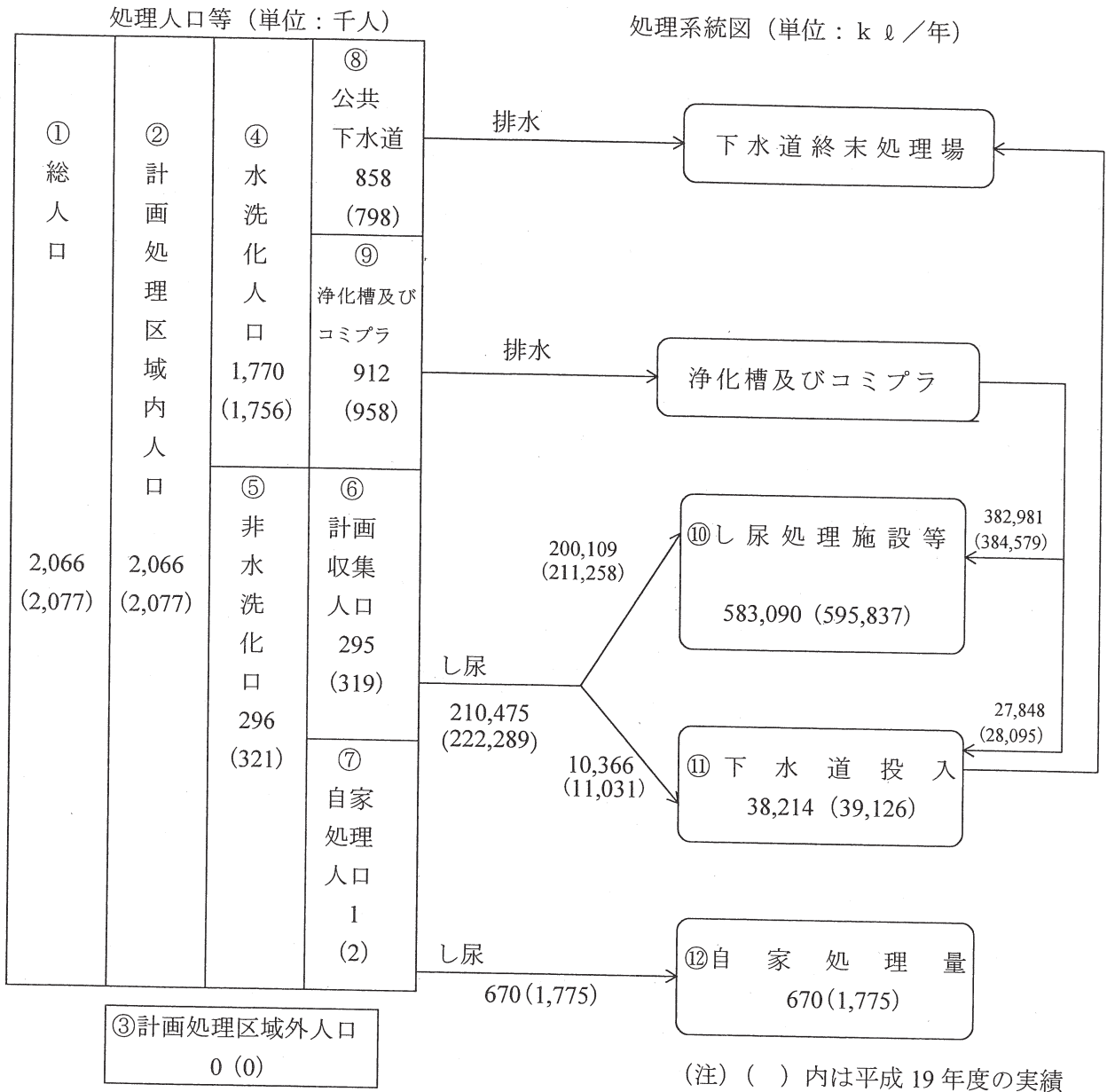


図-8 し尿処理のフロー図

(人口ベース)

計画区域率	②/①=100.0% (100.0%)
水洗化率	④/①= 85.7% (84.6%)
非水洗化率	⑤/①= 14.3% (15.4%)
計画収集率	⑥/①= 14.3% (15.4%)
自家処理率	⑦/①= 0.0% (0.0%)
公共下水道水洗化率	⑧/①= 41.5% (38.4%)
浄化槽及びコミプラ水洗化率	⑨/①= 44.1% (46.1%)
計画収集率	⑥/⑤= 99.7% (99.4%)
自家処理率	⑦/⑤= 0.3% (0.6%)

表-12 し尿処理の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
a 総人口(人)	2,125,829	2,118,626	2,109,814	2,096,295	2,076,623	2,066,222
b 計画処理区域内人口(人)	2,125,829	2,118,626	2,109,814	2,096,295	2,076,623	2,066,222
c 水洗化率(%)	81.6	82.0	83.7	83.8	84.6	85.7
d 水洗化人口(人)	1,734,914	1,737,423	1,766,762	1,756,592	1,755,857	1,770,060
e 公共下水道人口(人)	692,543	727,235	758,954	768,879	797,919	857,566
f コミュニティプラント人口(人)	3,212	3,080	2,920	2,543	2,420	2,426
g 浄化槽人口(人)	1,039,159	1,007,108	1,004,888	985,170	955,518	910,068
h 合併処理浄化槽人口(人)	393,590	406,076	439,276	443,236	479,941	471,222
i 非水洗化率(%)	18.4	18.0	16.3	16.2	15.4	14.3
j 非水洗化人口(人)	390,915	381,203	343,052	339,703	320,766	296,162
k 計画収集人口(人)	385,737	376,948	340,695	337,953	319,162	294,666
l 自家処理人口(人)	5,178	4,255	2,357	1,750	1,604	1,496
m 計画処理区域内のし尿排出量(kl/年)	714,970	697,161	643,205	657,052	636,738	621,974
n し尿処理量(kl/年)	714,970	699,214	643,205	657,052	636,738	621,974
o 計画処理量(t/年)	712,078	697,221	642,223	656,263	634,963	621,304
p し尿処理施設(kl/年)	664,351	650,530	606,523	616,236	594,275	583,090
q ごみ堆肥化施設(kl/年)	0	0	0	0	1,562	0
r 下水道投入(kl/年)	47,727	46,691	35,700	40,027	39,126	38,214
s 農地還元(kl/年)	0	0	0	0	0	0
t その他(kl/年)	0	0	0	0	0	0
u 自家処理量(kl/年)	2,892	1,993	982	789	1,775	670

(注) $c = (d/b) \times 100$

$i = (j/b) \times 100$

(3) 浄化槽の設置状況について

平成20年度の新設浄化槽基数は 4,221 基（対前年度比 88.7%）と、表-13のとおり年々減少しています。

また、平成20年度末における浄化槽設置基数は 272,259 基で、図-9のとおり平成14年度をピークに年々減少しており、そのうち単独処理浄化槽が 184,988 基と 68%を占めています。

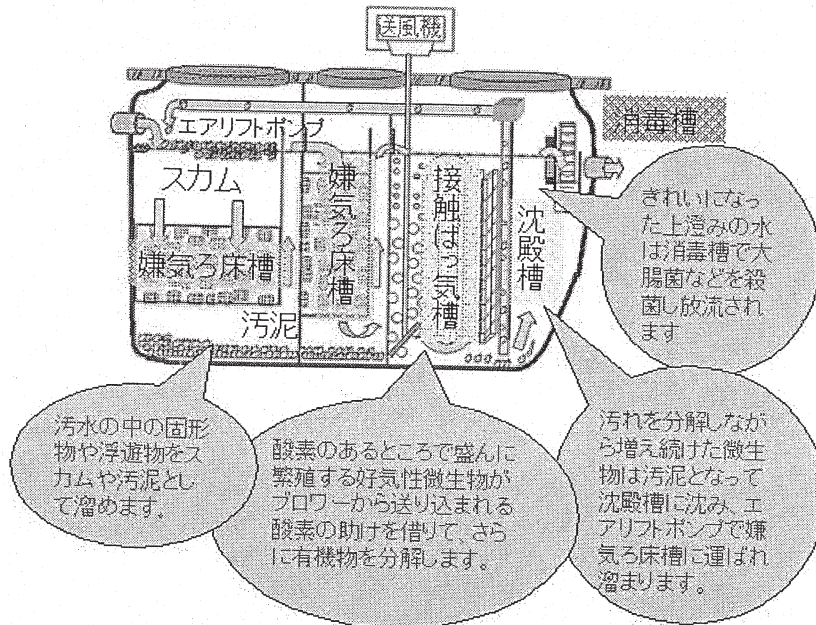
表-13 年度別新規設置基数

年度	15	16	17	18	19	20
基数	6,373	6,187	5,951	5,574	4,761	4,221

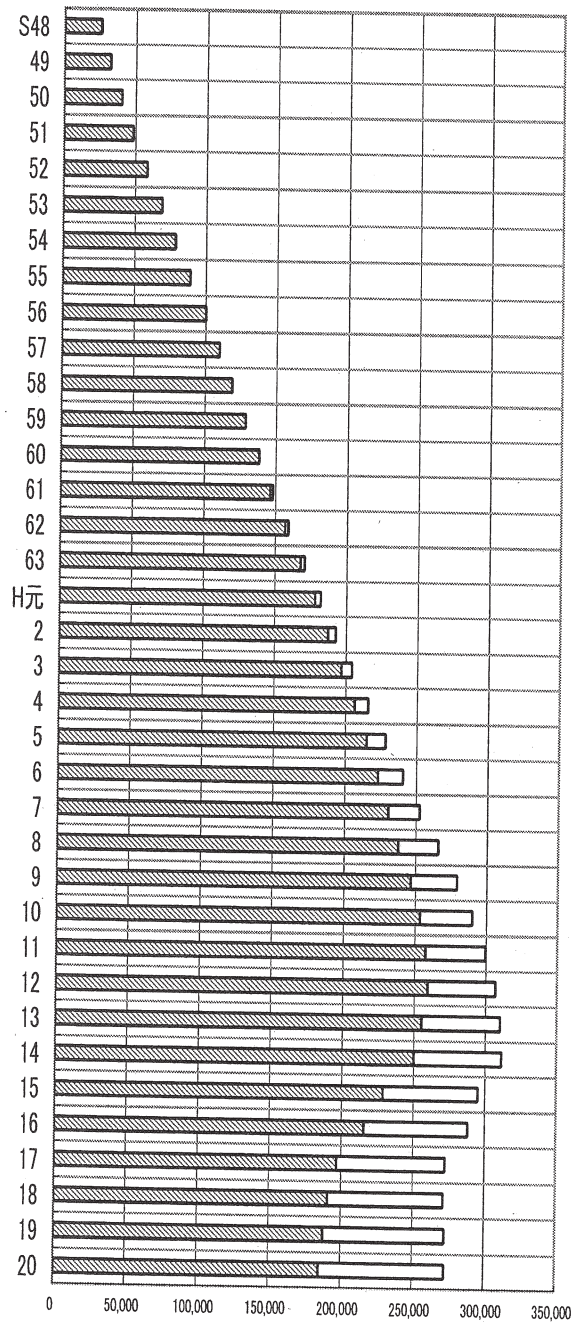
表-14 平成20年度末人槽別設置基数

人槽規模	5~20	21~100	101~200	201~500	501~	合計
基数	250,524	18,514	1,643	1,145	433	272,259

〈参考〉浄化槽のしくみ（嫌気ろ床接触ばっ気方式の例）



(年度)



年度	单独处理净化槽	合并处理净化槽	合計
昭和 48	25,460		25,460
49	32,182		32,182
50	40,186		40,186
51	48,330		48,330
52	58,369		58,369
53	68,776		68,776
54	78,329		78,329
55	88,769		88,769
56	100,090		100,090
57	109,812		109,812
58	118,967		118,967
59	128,446		128,446
60	138,273		138,273
61	145,912	2,046	147,958
62	156,964	2,372	159,336
63	167,651	2,953	170,604
平成 元	177,978	4,064	182,042
2	187,183	5,430	192,613
3	196,843	7,339	204,182
4	206,038	9,735	215,773
5	214,787	13,242	228,029
6	222,965	17,419	240,384
7	230,299	22,023	252,322
8	237,607	27,917	265,524
9	246,635	32,455	279,090
10	253,293	36,483	289,776
11	257,421	42,022	299,443
12	259,037	47,355	306,392
13	255,162	54,694	309,856
14	250,030	60,957	310,987
15	228,431	66,518	294,949
16	215,641	72,275	287,916
17	196,915	75,480	272,395
18	190,947	80,266	271,213
19	187,916	84,262	272,178
20	184,988	87,271	272,259

(基数)

▨单独处理净化槽 □合并处理净化槽

図-9 浄化槽設置基数の推移